

令和2年度事業報告書

社会福祉
法人 酒々井町社会福祉協議会

令和2年度 社会福祉法人酒々井町社会福祉協議会事業報告

地域住民の様々な生活課題等、地域の特性に応じた福祉活動を推進するため、令和2年度事業計画に基づき地域福祉の推進を図るとともに、酒々井町役場、ボランティア等各種関係団体との連携をさらに深め、住民サービスの向上に努めることとした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ボランティア活動やイベントなど、ほとんどの事業が縮小または休止となる一方で、コロナ禍での失業や減収による生活困窮者への相談業務のほか生活福祉資金特例貸付等の対応を実施した。

1. 会の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

本会の事業、組織、財政等の健全かつ適正な運営を図るための審議等を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催方法を検討し、第1回理事会・定時評議員会については役員等を招集せず、決議の省略での開催とした。

① 理事会

| 回数 | 開催日時 | 場 所 | 出席者 | 審 議 事 項 |
|-----|------------------------|---------------|-----------------|--|
| 第1回 | 6月3日(水) ※決議の省略による開催 | — | 理事 11名 監事 2名 | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告の承認について 令和元年度資金収支決算の承認について 令和2年度資金収支補正予算(案)の同意について 定時評議員会の開催について |
| 第2回 | 8月12日(水) 午前10時～ | 役場分庁舎 多目的室 | 理事 8名 監事 1名 | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度資金収支補正予算(案)の同意について 評議員会の開催について |
| 第3回 | 10月9日(金) 午前10時～ | 役場分庁舎 多目的室 | 理事 10名 監事 2名 | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度資金収支補正予算(案)の同意について 理事候補者の推薦について 評議員選任・解任委員の推薦について 評議員会の開催について |
| 第4回 | 11月26日(木) 午前10時～ | 役場分庁舎 多目的室 | 理事 11名 監事 1名 | <ul style="list-style-type: none"> 給与規定の一部改正について 令和2年度資金収支補正予算(案)の同意について 評議員会の開催について |
| 第5回 | 3月22日(月) 午前10時～ | 役場分庁舎 多目的室 | 理事 11名 監事 2名 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者給食サービス事業実施要綱の制定について 役員等賠償責任保険契約の締結について 令和2年度資金収支補正予算(案)の同意について 令和3年度事業計画(案)の同意について 令和3年度資金収支当初予算(案)の同意について 評議員会の開催について |

② 評議員会

| 回数 | 開催日時 | 場 所 | 出席者 | 審 議 事 項 |
|-------|----------------------------|---------------|----------|--|
| 第 1 回 | 6 月 18 日(木) ※決議の省略による開催 | — | 評議員 13 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度資金収支決算の承認について ・令和 2 年度資金収支補正予算（案）の承認について |
| 第 2 回 | 8 月 20 日(木) 午前 10 時～ | 役場分庁舎 多目的室 | 評議員 8 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度資金収支補正予算（案）の承認について |
| 第 3 回 | 10 月 19 日(月) 午前 10 時～ | 役場分庁舎 多目的室 | 評議員 9 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度資金収支補正予算（案）の承認について ・理事の選任について |
| 第 4 回 | 12 月 8 日(火) 午前 10 時～ | 中央公民館 研修室 | 評議員 7 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度資金収支補正予算（案）の承認について |
| 第 5 回 | 3 月 29 日(月) 午前 10 時～ | 役場分庁舎 多目的室 | 評議員 11 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度資金収支補正予算（案）の承認について ・令和 3 年度事業計画（案）の承認について ・令和 3 年度資金収支当初予算（案）の承認について |

(2) 監 査

| 監 査 名 | 開催日時 | 出席者 | 監 査 事 項 |
|--------|--|-------------|---|
| 監事監査 | 5 月 22 日(金) ※持ち回りによる 監査を実施 | 監事 2 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業執行状況について ・令和元年度経理状況について ・財産管理について |
| 内部会計監査 | 5 月 26 日(火) 7 月 22 日(水) 10 月 28 日(水) 1 月 27 日(水) 3 月 24 日(水) | 監査担当 理 事 | <ul style="list-style-type: none"> ・経理規程等に基づいて、適正妥当な会計処理がなされているかどうかを監査した |

(3) 会長・副会長会議の開催

- ・翌月の事業等について、毎月 1 回の開催

(4/22 5/26 6/24 7/22 8/27 9/24 10/28 11/26 12/22 1/27 2/24 3/24)

(4) 関係機関団体との連絡調整

関係福祉団体の運営協力と活動支援を行い、各団体との連携を図った。

① 酒々井町社会福祉施設協議会の事務局として庶務、会計業務を行った。

- ・酒々井町社会福祉施設協議会総会（7/17：書面決議）
- ・新型コロナウイルス感染症対策本部会議の内容について情報提供
- ・マスク（住民・町内企業より提供）、フェイスシールド（エコトピアより提供）、消毒用アルコール（飯沼本家より提供）の配布

② 民生委員児童委員関連業務

ア 毎月の定例会・役員会に出席し、情報交換・連絡調整を行った。

イ 民生委員児童委員と協力し、給食サービス受給者の安否確認を行った。

(5) 職員研修の実施・事務局機能の強化

①職員研修（外部研修）

ア 生活困窮者支援調整会議

(4/13 (書面開催) 5/12 6/9 7/14 8/12 9/8 10/14 11/10 12/9
1/12 (書面開催) 2/9 (書面開催) 3/9)

イ 共同募金会事業関係

- ・ zoom 意見交換会 7/16 (オンライン)
- ・ 事務担当者会議 8/26 (オンライン) ※5/15 開催分は中止
- ・ 印旛ブロック会議 2/8 (オンライン)
- ・ 事務局長会議 3/5 (オンライン)

ウ 日常生活自立支援事業関係

- ・ 生活支援員養成研修会 7/28

エ 生活福祉資金関係

- ・ 特例貸付対応のため研修等開催なし

オ 日本赤十字社事業関係

- ・ 地区・分区新任事務委員研修会 (中止)
- ・ 印旛地区赤十字連絡協議会 (中止)
- ・ 地区・分区事務委員連絡会議 (中止)

カ ボランティア関係

- ・ 地域福祉・地区社協担当者及びボランティアセンター担当者スキルアップ
研修 3/3 (オンライン)

キ 人権教育セミナー 全回中止

ク 障害者福祉関係

- ・ 研修等開催なし

ケ 会長・事務局長関係

- ・ 市町村社会福祉協議会事務局長会総会 7/17 (書面開催)
- ・ 市町村事務局長会研修会 2/2 (オンライン)
- ・ 印旛ブロック市町社協会長・事務局長会議 2/26 (オンライン)
- ・ 市町村福祉担当課長・社協事務局長合同会議 (中止)
- ・ 社協会長・事務局長合同研修会 (中止)
- ・ 印旛ブロック市町村社会福祉協議会相談事業運営研究協議会 (中止)

コ その他研修

- ・ 生活支援体制づくりに関する印旛圏域の情報交換会 10/28
- ・ 福祉サービス苦情解決研修会 11/16
- ・ 令和2年度ブルーシート展張講習会 12/4

- ・ 社会福祉協議会活動全国会議 12/7、12/22（各オンライン）
- ・ 千葉県社協職員連絡協議会一般研修・交流事業 1/18（オンライン）
- ・ 令和2年度情報発信力強化セミナー（SNS編）
災害ボランティアセンター運営スタッフ養成研修 2/18（オンライン）
- ・ 成年後見制度市町村長申立研修会 3/1（オンライン）
- ・ 地域意見交換会及び印旛郡就労圏域会議 3/10（オンライン）
- ・ 成年後見制度利用促進体制整備のための千葉県域会議 3/22（オンライン）
- ・ 中核地域生活支援センター連絡調整会議 3/25（書面決議）

② 事務局会議の開催

職員間の意思の疎通と共通理解の促進及び意見交換を目的に11回行った。

(4/6 6/1 7/6 8/3 9/8 10/5 11/2 12/7 1/18 2/9 3/1)

(6) 新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策

- ・ 緊急事態宣言発出後、本会における事務継続要領を策定し、事務室内での分散勤務及び交代制勤務を実施、電車通勤の職員については時差式通勤を採用した。併せて職員に感染者等が発生した際の対応フローを作成した。
- ・ 事務室内の換気や一日2回の消毒作業を実施した。
- ・ 来訪者への対応として窓口及び相談時の机に消毒液とアクリル板を設置した。また、相談者の検温と健康確認を実施した。

2. 自主財源の確保

(1) 会費

会員が納入する会費は本会活動の貴重な自主財源であるため、社会福祉協議会の説明並びに会費の使われ方のPRに努めた。

① 会員数および会費収入金額

| 会員区分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|--------|-------------|-------------|------------|
| 一般会費 | 2,943世帯 | 3,040世帯 | 2,875世帯 |
| | 1,471,650円 | 1,520,250円 | 1,437,542円 |
| 特別会費 | 215件 | 326件 | 316件 |
| | 641,000円 | 881,000円 | 891,000円 |
| 井戸っこ会費 | 27口 | 125口 | |
| | 13,500円 | 62,500円 | |
| 合計 | 3,185世帯・件・口 | 3,491世帯・件・口 | 3,191世帯・件 |
| | 2,126,150円 | 2,463,750円 | 2,328,542円 |

② 自治会・自治会長への説明

行政協力会議において説明することとしていたが中止となった。

(2) チャリティー事業（令和2年度はふるさとまつり中止のため寄贈図書を販売）

| 事業名 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|-----------|---------|----------|----------|
| チャリティーバザー | 16,330円 | 206,983円 | 325,691円 |

(3) 共同募金運動

| 募 金 名 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|-----------|------------|------------|------------|
| 赤い羽根共同募金 | 1,432,610円 | 1,388,145円 | 1,423,707円 |
| 歳末たすけあい募金 | 763,213円 | 750,057円 | 768,904円 |

(4) 「ふくしの箱」・寄附金の状況

| 種 別 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|------------|------------|
| ふくしの箱 | 17か所 | 17か所 | 17か所 |
| | 41,035円 | 27,648円 | 33,454円 |
| 一般寄附金 | 48件 | 57件 | 47件 |
| | 1,134,046円 | 1,281,051円 | 1,156,322円 |
| 社会福祉振興基金積立金寄附金 | | | |

(5) 社協しすい有料広告 14件/4社 70,000円

(6) 自動販売機(7台)設置収益 210,449円

3. 広報事業

(1) 社協広報紙「社協しすい」を4、7、10、1月の各1日に発行した。

| | | |
|--------|---------------|--|
| 発行部数 | 6,000部→5,500部 | } 新聞折込数の減少により、 令和3年1月号から発行部数 を500部減冊とした。 |
| 新聞折込み数 | 5,750部→5,250部 | |

(2) ホームページ・SNSでの情報提供

ホームページの内容の充実を図ったほか、facebook、Twitter等のSNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用し、幅広い年齢層への情報提供を行った。

4. ボランティア活動の推進と育成

(1) ボランティア活動の推進

酒々井町ボランティア協議会に登録されているボランティアは、8グループ169名、個人40名(内 災害ボランティア4名)の計209名で福祉ニーズに応じ、それぞれの活動を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から一部事業において休止又は縮小となった。

①給食サービス「菜のはな会」(中止)

調理に携わるボランティア40名(栄養士1名を含む)は3班に編成されており、配食ボランティアとして活動している会員は10名である。

②朗読奉仕「虹」

会員13名で、目の不自由な方等に社会福祉協議会広報紙「社協しすい」、町広報紙「ニューしすい」等をCDに録音し、配布した。

③ 手話を学ぶ会「仲間」

会員31名で、聴覚障害者の方との交流を深めるとともに、手話技術の向上と普及に努めた。

④ 明るい社会づくり推進協議会酒々井支部

会員28名で、使用済切手の整理、また地域の美化運動としてゴミ収集活動、小中学生を対象としたポスター作品展を例年実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためポスター作品展は中止した。

⑤ 更生保護女性会

会員7名で、女性として母親の立場から、犯罪予防と非行に陥った青少年の更生活動、施設訪問を例年実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設訪問は中止した。

⑥ 手話ダンス・しすい

会員12名で、手話ダンスを通じ、児童との交流や、高齢者・障害者施設への訪問を例年実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訪問は中止した。

⑦ 傾聴ボランティア「かざぐるま」

会員13名で例年は特別養護老人ホーム「エコトピア酒々井」を訪問しての活動や毎月第1金曜日のふれあいサロン「かざぐるま」及び出張サロンに協力しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止となり、新しい生活様式に沿った開催についての検討会を3回行った。

⑧ 住みよい酒々井をつくる防災の会

千葉県災害コーディネーター養成講座修了者及び防災士資格者の会員15名が、地域の防災講座等で講師や指導を行った。

(2) ボランティア協議会活動の推進

- ① 運営委員会の開催 2回
+ 郵送による検討 2回
- ② 広報委員会の開催 全て中止
- ③ 事業検討委員会の開催 1回
- ④ 「千葉県ボランティアのつどい」の周知（3月28日開催 1名参加）

(3) ボランティア入門・専門養成講座の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全事業中止となった。

5. ワンコインサービス事業

高齢者や障害者等のいる世帯で、日常生活の「ちょっとした困りごと」を、地域の登録ボランティアが代わりに行う有償のボランティアサービスを行った。

| ボランティア登録者数 | 利用回数 | サービス内容 | 回数 |
|------------------|------|--------|------|
| 40名 (内、活動者5名) | 222回 | ごみ出し | 222回 |

6. ふれあいサロン事業

傾聴ボランティア「かざぐるま」の協力により、誰もが気軽に集まり、お茶を飲みながら楽しく交流できる場『ふれあいサロン「かざぐるま」』等を例年開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全事業を中止した。

- (1) ふれあいサロン「かざぐるま」の開催（毎月第1金曜日） ※全回中止
新しい生活様式に沿った開催方法を検討するため、傾聴ボランティア「かざぐるま」のボランティアによる検討会を3回開催した。
- (2) 出張サロンの開催（中止）
- (3) 特別養護老人ホーム「エコトピア酒々井」での傾聴活動（中止）

7. 在宅福祉推進事業

- (1) 生活援助用具の貸出し

| 車いす | 電動ベッド | シルバーカー | 松葉杖 | 四点杖 | 杖 | 歩行器 | 合計 |
|-----|-------|--------|-----|-----|----|-----|-----|
| 22件 | 3件 | 2件 | 0件 | 1件 | 2件 | 1件 | 31件 |

- (2) 生活援助用具購入助成

生活に必要な補助用具の購入に対し、1世帯につき年1回の助成（限度額5万円補助率2/3）を行った。

| 助成件数 | 助成内容 | 助成金額 |
|------|------------|----------|
| 8件 | 電動車椅子・車椅子 | 3件 |
| | 手摺 | 1件 |
| | 電動ベッド等 | 1件 |
| | 四点杖 | 1件 |
| | 補聴器 | 1件 |
| | パルスオキシメーター | 1件 |
| | | 217,000円 |

(3) 給食サービス（中止）

ボランティア団体「菜のはな会」により、75歳以上の一人暮らし高齢者に対し、毎月第1、3、4木曜日に手作りの昼食を配布する事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

次年度以降の実施に向け、現行の実施要綱の全面的な見直しにより、新たに要綱を制定した。

| | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|------|-------|--------|--------|
| 対象者 | — | 119名 | 137名 |
| 配食回数 | — | 31回 | 31回 |
| 配食数 | — | 2,723食 | 3,115食 |

(4) 朗読サービス

ボランティア団体朗読奉仕グループ「虹」により、目の不自由な方等に社協の広報紙、町広報紙等をCDに録音し、配布した。

対象者 3名

録音回数 20回（社協しすい 4回、広報ニューしすい 12回、議会だより 4回）

8. 高齢者福祉事業（全事業中止）

高齢者が健康で豊かな生きがいのある生活を送れるよう支援することとして諸事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から、すべて中止とした。

(1) 水仙クラブ連合会事務局の運営

①町水仙クラブ連合会（20クラブ・会員数340名）事業

主な事業：ハイキング、パークゴルフ大会、囲碁将棋大会、作品展の実施
総会、役員会の開催

②印旛地区高齢者クラブ連合会事業への参加

③なのはなシニア千葉（千葉県老人クラブ連合会）事業への参加

(2) 老人福祉大会の開催（中止）

9月21日の敬老の日に町との共催により、午前2部、午後1部の3部制で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

①88歳長寿者顕彰（記念品贈呈） 76名

②老人クラブ代表による演芸会（中止）

(3) ゲートボール協会事務局の運営

9. 児童福祉事業

町子ども虐待防止対策協議会との連絡調整や実務者研修（10月15日及び3月16日開催）に参加し、関係機関との連携を図った。

10. 障害者（児）福祉事業

障害者（児）の福祉の増進と障害者（児）に対する正しい理解の普及に努めた。

- (1) 町心身障害者福祉会事務局の運営
 - ①町心身障害者福祉会事業の開催 主な事業：総会の開催（書面決議）
 - ②県・印旛地区身障福祉会事業への参加（中止）
- (2) 「手をつなぐ親の会」の活動支援
- (3) 「ひなげしの会」の開催（中止）
例年町内の障害者どうしの交流を深めるための交流会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。
- (4) 「町心身障害者福祉会」・「手をつなぐ親の会」合同親睦旅行（中止）

1 1. 福祉教育の推進

例年夏休みにボランティアスクールを開催し、児童、生徒が福祉に対する関心及び正しい理解を深めてもらうための支援を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った。

1 2. ひとり親家庭支援事業

白ゆり会と協力し、ひとり親家庭同士の交流を深めるための事業を例年実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業は中止した。

- (1) 白ゆり会（町母子寡婦福祉会）活動への支援
- (2) クリスマス会の実施（中止）

1 3. 共同募金事業

広く社会福祉事業に対する住民の意識を高めるとともに、地域自治会の協力により募金を実施し、配分した。

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

10月から12月に自治会を経由し、1世帯500円を目安に募金の協力をお願いした。

(2) 歳末たすけあい募金運動の実施と配分

12月に自治会を経由し、1世帯200円を目安に募金の協力をお願いした。

〔配 分〕

- ①75歳以上一人暮らし世帯へのおせち料理の配布
206名 670,900円
- ②施設、団体へ助成
4施設1団体 180,000円
- ③歳末相談事業
4回（弁護士、専門相談員等） 128,000円

14. 善意銀行貸付事業

他の援助を受けられない生活困窮者等のため、一時的なつなぎとして町社協独自の資金の貸し付けを行った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入が減少した世帯に対して、町からの補助金を財源として特例貸付を行った。

| | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|------|----------------------------|----------|------------|
| 相談件数 | 27件 | 15件 | 29件 |
| 貸付件数 | 25件(特例8件) | 12件 | 28件 |
| 貸付金額 | 1,163,000円 (特例400,000円) | 423,000円 | 1,025,000円 |

15. 心配ごと相談・法律相談事業

毎週木曜日を相談日とし、第2・4木曜日は、法律相談として弁護士を招き、第1・3・5木曜日は、心配ごと相談として専門相談員、民生委員により相談に応えた。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発令に伴い、4月9日～5月31日及び1月28日の計9回(法律5回、心配ごと4回)を中止とし、2月及び3月開催分については対面形式を変更して、電話による相談を行った。

| 相談名 | 令和2年度(内 電話相談としての実施) | 令和元年度 | 平成30年度 |
|--------|---------------------|-------|--------|
| 法律相談 | 15日(2日) | 23日 | 25日 |
| | 45件(8件) | 81件 | 109件 |
| 心配ごと相談 | 13日(2日) | 15日 | 16日 |
| | 18件(4件) | 26件 | 24件 |

16. 日本赤十字社酒々井町分区事業

赤十字思想の普及に努めるとともに、赤十字事業の基盤である活動資金募集を地域自治会に協力依頼し実施、町赤十字奉仕団の協力により例年実施している訪問による活動資金協力については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(1) 活動資金募集運動(5～6月)実績額

| 募金名 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|-------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 一般協力者 | 1,253,400円 | 1,288,400円 | 1,327,465円 |
| 高額協力者 | 186,000円 個人73件・法人21件 | 411,000円 個人187件・法人62件 | 431,000円 個人194件・法人66件 |

(2) 赤十字奉仕団との連絡調整

- ①赤十字活動資金募集に係る打合せ会議の開催(中止)
- ②赤十字活動事業参加者募集等打合せ会議の開催(中止)
- ③社会福祉協議会特別会費募集に係る打合せ会議の開催(中止)

17. 町受託事業

(1) 介護支援ボランティア事業

65歳以上の方が施設等でのボランティア活動を通じて地域貢献することで、高齢者自身の介護予防の推進と、いきいきとした地域社会づくりを目的とした事業であり、管理機関としての業務を実施した。

①介護支援ボランティアの登録並びにカードの交付及びボランティア保険の加入

| 登録者数 | 内 訳 |
|------|------------------|
| 44名 | 男性：14名 女性：30名 |

②介護支援ボランティア評価ポイントの管理

| 活動者数 | 延べ活動日数 | 活動実績 | 評価ポイント数 |
|----------------------|--------|------|------------|
| 5名 男性：1名 女性：4名 | 219日 | 406回 | 20,000ポイント |

③介護支援ボランティア制度説明会及び研修会の開催に協力

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 放課後児童クラブ事業

保護者が就労などにより放課後家庭にいない児童に適切な生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的に、酒々井町から業務を受託し運営した。

*嘱託職員等の雇用、賃金や社会保険等の管理、運営費について、保育料又は委託料等の収入や事業費支出等の予算管理の実施

- ・児童クラブ名 大ちゃん学童クラブ
- ・所在地 酒々井町尾上2-2 (大室台小学校内)
- ・開所時間 月曜日～金曜日 授業終了～午後7時
土曜日・学校休業日 午前7時30分～午後7時
- ・年間平均登録児童数 67名
(内訳1～3年生：46名 4～6年生：21名)
- ・年間開所日数 294日
内訳 平日 218日 土曜日 42日 (長期休暇中の土曜日を含む)
長期休暇 34日 (3月春休み5日 4月春休み4日 夏休み21日 冬休み4日)
- ・支援員 嘱託職員(常勤3名) 非常勤職員(12名)
(内有資格者6名)
- ・支援員の研修
 - *県主催による放課後児童支援員認定資格研修(修了者1名)
 - *県主催による児童支援員等資質向上研修
 - *県学童保育連絡協議会の特別講座「発達障害を学ぶ」

- ・各行事

歓迎会、七夕祭り、クリスマス会、ハロウィン、避難訓練、節分等季節の諸行事を実施した。

- ・その他

病院受診を伴うケガが2件発生し、治療費等について傷害保険で対応した。

18. 県社会福祉協議会受託事業

(1) 生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金貸付事業

低所得世帯、障害者世帯等の経済的自立と更生意欲の助長促進を図り安定した生活が営まれることを目的とした貸付を行った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入が減少した世帯に対して、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を行った。

(通常)

| 相談件数 | 貸付件数 | 貸付金額 | 貸付資金名 |
|------|------|------------|------------------------------|
| 25件 | 3件 | 1,974,000円 | 緊急小口資金1件 100,000円 |
| | | | 福祉費(障害者自動車購入費)1件 750,000円 |
| | | | 教育支援資金1件 1,124,000円 |

(コロナ特例)

相談件数 463件 (外国人 219件)

| | 申請件数 | 貸付件数 | 貸付金額 |
|--------------------------------------|------------------------|------------------------|-------------|
| 緊急小口資金 ※上限20万円 | 170件 (外国人77件) | 160件 (外国人74件) | 31,600,000円 |
| 総合支援資金 ※単身15万円×3ヵ月 ※複数20万円×3ヵ月 | 202件 (外国人112件) | 151件 (外国人91件) | 81,930,000円 |
| | 延長 39件 (外国人20件) | 延長 38件 (外国人20件) | |
| | 再貸付 46件 (外国人27件) | 再貸付 18件 (外国人10件) | |

*貸付件数は令和3年3月31日までに貸付決定があったもの

(2) 日常生活自立支援事業

在宅で日常生活を送る上で、判断能力が十分でない高齢者や障害のある方の金銭管理、財産管理を行うとともに、関係機関との連絡調整を行った。また、成年後見制度に関する相談、助言を行った。

相談件数 16件 ・ 新規契約者 8名 ・ 解約者 8名

| 利用者数 | 利用者内訳 | 支援員数 専門員数 | 支援回数 | 支援時間 | 支援内容 |
|-------------------------|---|--------------------|------|--------|-----------------------------------|
| 29名 (内生活保護 者数16名) | 高齢者 15名 精神障害 5名 知的障害 4名 その他 5名 | 支援員 7名 (登録のみ2名) | 20回 | 約22時間 | ・福祉サービス利用 援助 ・財産管理 ・財産保全 |
| | | 専門員 3名 | 291回 | 約175時間 | |

・生活支援員内部研修の実施 開催なし

19. しすい健康ふくしフェスティバル (中止)

地域の皆様の健康や福祉に対する意識の高揚を図るとともに、子どもから高齢者の多世代交流を目的とした「しすい健康ふくしフェスティバル」を町と共催で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となった。

20. 災害(防災)に関する事業

(1) 義援金・救援金の受付、街頭募金の実施 (日本赤十字社千葉県支部へ送金)

| | | |
|------------------|----|---------|
| ・令和元年台風第19号災害 | 2件 | 32,839円 |
| ・東日本大震災 | 1件 | 1,800円 |
| ・平成28年熊本地震 | 1件 | 376円 |
| ・令和2年7月豪雨災害(熊本県) | 2件 | 73,733円 |

(2) 防災用品の整備 レスキューショルダー(救助工具等) 1点

(3) 災害時要援護者支援ボランティア会(災援会)の運営

21. 酒々井町地域福祉推進委員会

平成30年3月に策定した第2期酒々井町地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進と評価のため、25名の推進委員による委員会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

9月に中間評価分析シート「令和元年度進捗状況及び令和2年度実施予定」を推進委員に送付した。

22. その他

(1) 生活支援体制整備事業の協議体への参加(6/26 10/1 12/22 3/8)

地域包括ケアシステムの推進に向け、町が設置する生活支援体制整備事業の協議体に参加し、地域福祉推進のための話し合いを行った。

(2) 生活困窮者自立支援事業との連携

毎月開催される支援調整会議に出席し情報共有を図るとともに、さかえ・しすいワークライフサポートセンターと連携して生活困窮者に対して資金の貸付や物品の提供、フードバンクによる食品の提供等の支援を行った。

また、生活困窮者の早期発見を目的として、さかえ・しすいワーク・ライフサポートセンターによる出張相談が、毎月第1・3火曜日に社協事務室で実施された。

(3) フードドライブへの協力

フードバンクちばが実施するフードドライブへ協力し、食品の受け取り窓口となって住民から寄付された食料品等を預かりフードバンクちばへ届けた。

(4) 酒々井町新型コロナウイルス感染症対策本部会議への出席

町の新型コロナウイルス感染症に係る対策や事業の検討を行う会議にオブザーバーとして出席し、行政との情報共有を図った。

(5) 一人暮らし高齢者への「年賀状」の送付

新型コロナウイルス感染症の影響により在宅福祉推進事業が中止となったことで訪問の自粛を余儀なくされていることを受け、一人暮らしの高齢者に有志ボランティアが作成した年賀状を送付することで、孤独感の解消や「何か困ったときの相談機関」としての社会福祉協議会の周知を図った。

対象者：町内在住の75歳以上の高齢者のうち、給食サービス受給者及び歳末おせち

配布者 計 214名

令和2年度 デマンド交通(しすいふれ愛タクシー)事業報告

1. ふれ愛タクシー運行実績

運行地域 町内全域およびさくら斎場 (佐倉市)

日医大北総病院 (印西市)

成田赤十字病院 (成田市)

運行時間 午前8時から午後5時まで

登録者数

| | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|----------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 登録世帯数 (登録率) | 3, 223世帯 (32.9%) | 3, 172世帯 (32.1%) | 3, 084世帯 (31.4%) |
| 登録人数 (登録率) | 7, 806名 (38.0%) | 7, 710名 (37.2%) | 7, 541名 (36.3%) |

利用者数

| | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|------|---------|----------|----------|
| 運行日数 | 240日 | 240日 | 244日 |
| 利用者数 | 9, 318名 | 12, 019名 | 13, 604名 |
| 1日平均 | 38.8名 | 50.1名 | 55.8名 |

利用回数 (上位3位まで)

【乗車場所】

- ①せんだう 1, 017回
- ②トライアル 392回
- ③ナリタヤ 254回

【降車場所】

- ①成田赤十字病院 941回
- ②しすい整形クリニック 907回
- ③日医大北総病院 574回

2. スクールバス運行実績

運行地域 伊籾・伊籾新田地区、上岩橋地区一部、馬橋・ネオポリス地区

運行時間 登校：午前7時20分頃から午前8時まで

下校：酒々井小学校の下校時刻による

利用者数

| | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|--------|----------|---------|---------|
| 運行日数 | 198日 | 182日 | 201日 |
| 利用者数 | 10, 004名 | 8, 348名 | 8, 296名 |
| 対象児童人数 | 38名 | 32名 | 28名 |

3. 利用券販売実績

| | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| 一般利用券 | 3, 236冊 | 4, 215冊 | 4, 623冊 |

4. 運行委員会

令和2年6月

令和2年度第1回運行委員会 (中止)

令和3年3月

令和2年度第2回運行委員会 (中止)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

令和2年度事業報告において、社会福祉法第45条の2第2項に規定する附属明細書については、同法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

令和3年5月

社会福祉法人 酒々井町社会福祉協議会